

## 環境情報セミナー

主催：立正大学大学院オープンリサーチセンター  
後援：パーソナルコンピュータ利用技術学会，  
NPO法人GISパートナーシップ

### 主旨

立正大学地球環境科学部環境システム学科環境管理・情報コースでは、環境に関する広域かつ高精度な情報をリモートセンシングおよび観測等によりモニタリングし、GIS（地理情報システム）によりデータ解析を行い、対象地の特徴を抽出するとともに、環境を構成する要素パラメータ間の関係性を統計処理により評価し、その結果を環境管理に適用できる人材（環境ケアリーダー）を養成しております。

本セミナーでは、文部科学省オープンリサーチセンター整備事業の補助等を受け、立正大学地球環境科学部 環境システム学科 環境管理・情報コースで行われている研究・教育成果を公開します。本セミナーで紹介した内容が地域の環境管理に適用され、新たな地域連携ができましたら幸いです。

プログラム（若干の変更の可能性があります）：

10月25日（土）13:00 - 17:00

場所：立正大学熊谷校舎図書館地下1階 13B1（遠隔システムを用い大崎 - 熊谷で実施）

### 開会挨拶

環境管理情報コースについて、地球環境科学部の地域連携事例  
遠隔システムによる地域連携ICT教育システム構築の試み

山下倫範（立正大学地球環境科学部教授）

市民レベルによる環境管理の実践

吉岡 茂（立正大学地球環境科学部教授）

【実習】MANDARAによる住民参加型環境情報管理 - 水質調査マップを作ろう -

酒井聡一（立正大学地球環境科学部助手）

### 閉会

11月1日（土）13:00 - 17:00

場所：立正大学熊谷校舎 地球環境棟コンピュータC室，学生CPU室，

### 開会挨拶

持続可能なまちづくりへの戦略～環境教育と市民活動との「協働」の可能性

松本浩一（埼玉県立小川高等学校定時制教諭）

【実習】Google mapsによる市民参加型GISの利用

范 海生（立正大学地球環境科学部特任講師）

環境情報処理を用いた地域連携事例

- オオムラサキ生息域予測とオオムラサキ保護への適用，  
地域SNSとGISの利用による環境まちづくりへの適用 -

後藤真太郎（立正大学地球環境科学部教授）

### 閉会

連絡先：

〒360-0194 埼玉県熊谷市万吉 1700

立正大学地球環境科学部環境システム学科 後藤研究室

TEL : 048-539-1653 : FAX : 048-539-1639 e-mail : [gotoken@ris.ac.jp](mailto:gotoken@ris.ac.jp)

FAX : 048-539-1632   もしくは   gotoken@ris.ac.jp  
立正大学地球環境科学部  
環境システム学科 環境管理・情報コース 後藤研究室 行

平成20年度 「環境情報セミナー」受講申込書

ふりがな

お名前

勤務先・学校名

ご住所 〒

お電話（自宅）                   -                   -